

8月のアーティスト



押田 明莉 ちゃん

岩手保健医療大学附属北上認定こども園 6歳



園の七夕まつりの絵を描いたよ。ヨーヨー釣りで一つ釣れたし、イチゴ味のかき氷がおいしかった！園の行事で一番楽しかったな。

みんな

の広場

この人に聞く Spotlight

No.229

伝統を絶やさぬ決意—18年の時を経て復活

高橋 達也 さん



「最初は怖かったんですよ。でも、やってみたら面白くて、小学5年生から続けてきました」と語るのは、宇南神社社附神楽の代表、高橋達也さん（和賀町長沼・43歳）です。同神楽は150年以上前から飯豊地区に伝わる神事であり、地域の誇り。高齢化や担い手不足による18年の休止を経て、昨年の例大祭で復活を果たし、今年は19年ぶりに北上・みちのく芸能まつりで伝統の舞を披露しました。高橋さんは、同神楽の活動休止中も古くから神楽同士の交流があった村崎野大乗神楽で舞台に立ち続けます。しかし「これだけは残したい」という思いから、権現舞だけは宇

南神社社附神楽の型を守り、村崎野大乗神楽でも踊り続けていたそうです。神楽復興への歩みは約4年前、宇南神社の総代長が村崎野大乗神楽の西塚真二さんに掛けた一本の電話でした。高橋さんと西塚さんは20年以上の仲。西塚さんから声が掛かった時は「正直苦勞すると思いました。演目を覚えている人も少ないし、道具も古い。でも、やれるところまでやってみようと思ったんです」と強い眼差しで話します。「中途半端なことはしたくない」という思いから、西塚さんと共に平成9年頃の古い映像を頼りに演目を研究し、子どもたちを指導。例大祭で演目を披露した後に地域の人から『よくやってくれたね、ありがとう』と言われ、「神楽が地域のものなんだ」と実感しました。現在、同神楽には小学生から大人まで12人が所属。高橋さんは、大乗神楽では珍しい刀を使った八幡舞などの演目、地域の家々を回る春祈禱の復活を見据え、「子どもたちに伝えていけば、きっと続いていく。仲間と協力して守っていきたい」と未来への展望を語ります。

No.293

みんなの詩歌



赤とんぼ指にとまった秘密あり
小原 周慈

君の声トマトの色に染まる頬
高橋 皇士

虹と雲青空高く舞踏会
浦田 明希

打ち水や光の反射ガラス散る
平野 陽香

※掲載作品は日本現代詩文館内に展示しています。
和賀西中学校三年

おらほの愛どる



玉上 叶蒼 くん
令和6年4月9日生まれ
（上江釣子）

生まれてきてくれてありがとう
♡これからも元気にすくすく育ってね!! 大好きだよ♡



高橋 織音 くん
令和6年7月5日生まれ
（下鬼柳）

いっぱい食べていっぱい遊んで
いっぱい思い出そうね! 大好きだよ!



齋藤 麦 くん
令和5年6月25日生まれ
（川岸）

むぎの笑った顔も、怒った顔も、
泣いた顔も全部大好き! すくすく元気に育ってね!

どんなクラス?

みんな元気なクラス（匡史）
体育の授業が好きで、プールで泳ぐのが得意（葵）
だるまさんがころんだや鬼ごっこをして遊ぶ（莉旺）

担任 山田先生からのメッセージ

元気いっぱい、優しさいっぱいの
皆さんと過ごす時間がとても楽しい
です。これからも、仲良く楽しく過
ごしていきましょう。

8月のクラス 更木小学校 2年

